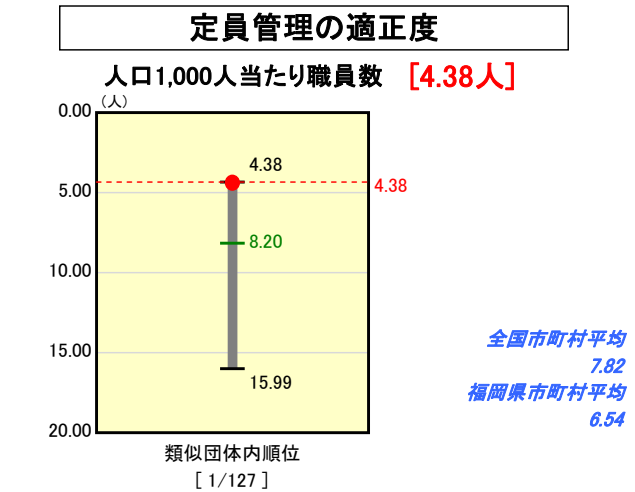
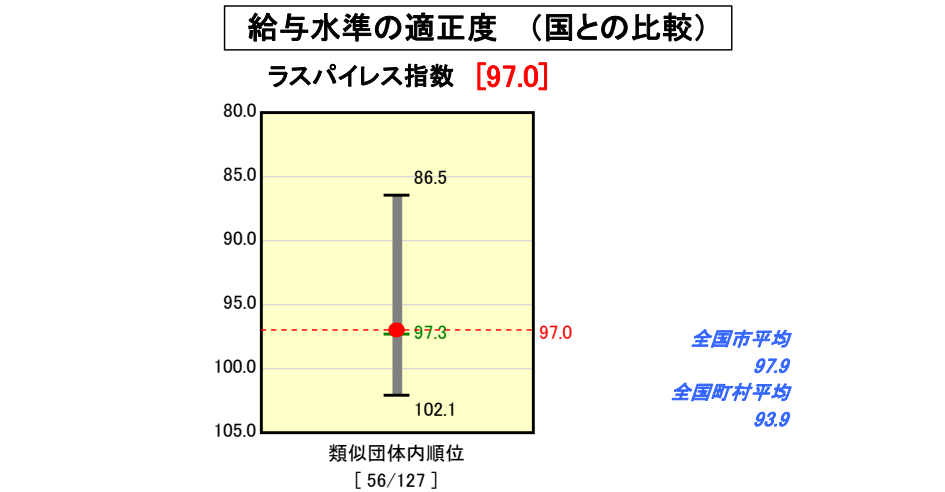
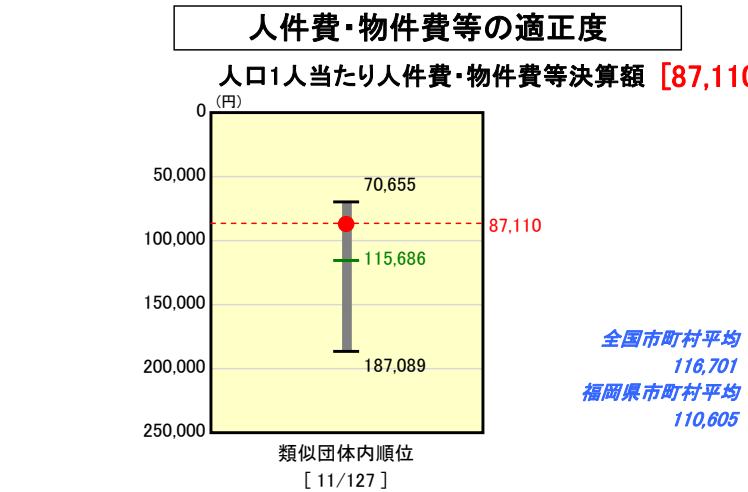
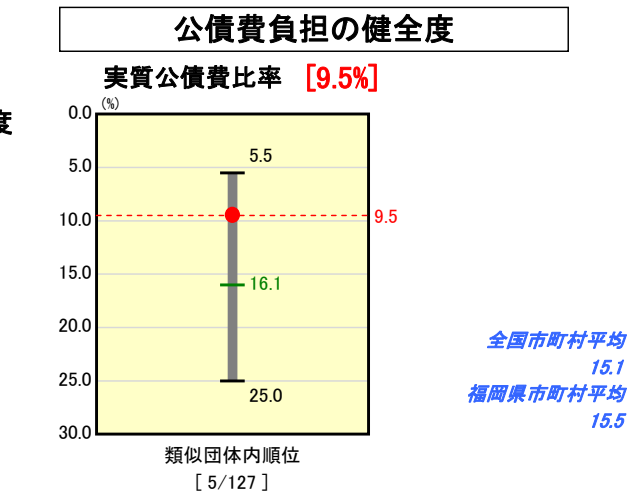
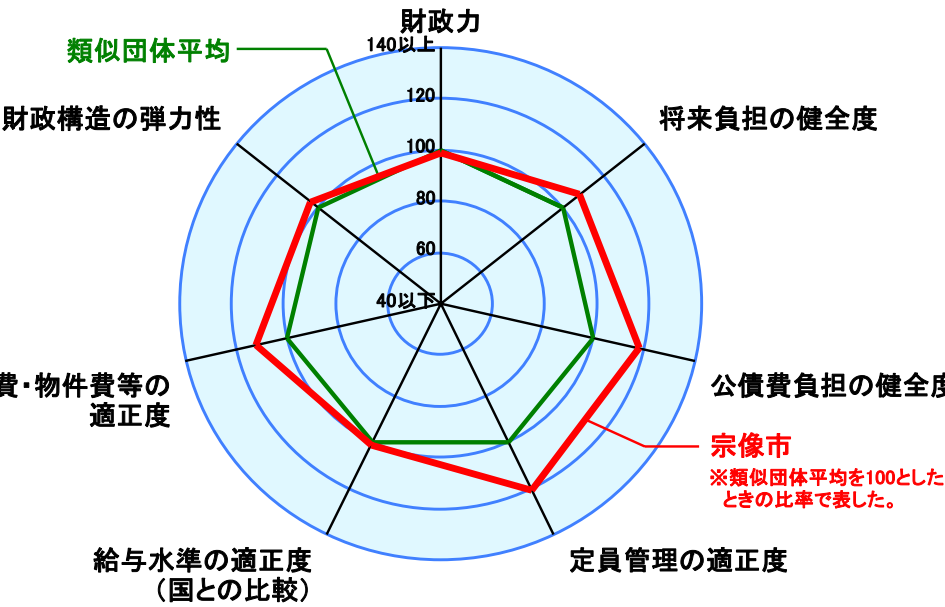
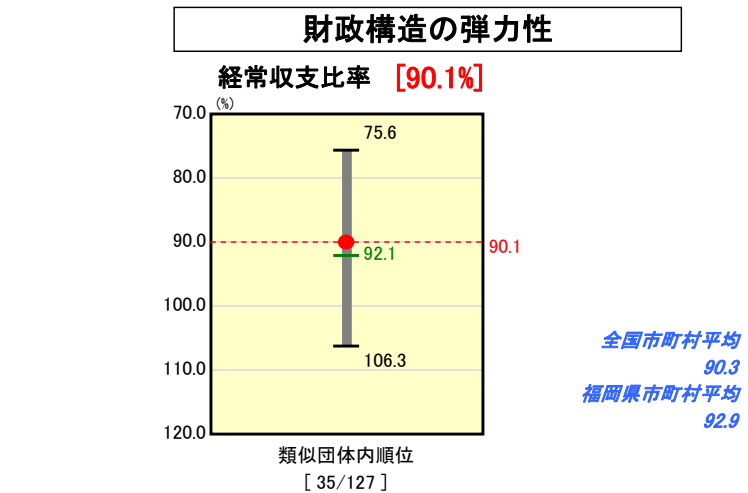
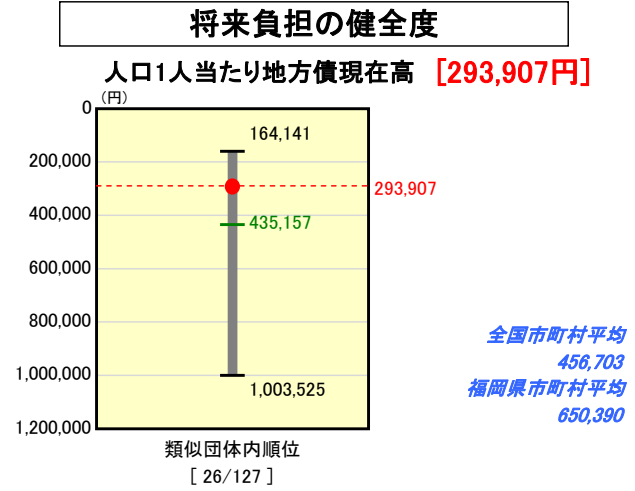
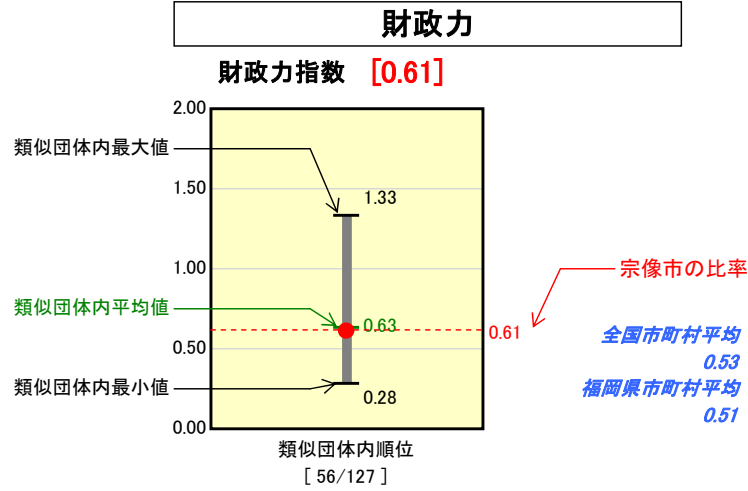


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 宗像市

人口	94,804	人(H19.3.31現在)
面積	119.65	km ²
歳入総額	29,790,821	千円
歳出総額	28,837,677	千円
実質収支	699,003	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
以前は類似団体平均を大きく下回っていたが、2度の合併によるスケールメリットなどで行政コストの圧縮を図り、類似団体平均とはほぼ同じ水準となった。今後も、財政安定化プランに掲げた目標(計画期間の平成27年度までを通じて経常収支比率90%以下、実質公債費比率11%以下、市債残高300億円以下)の達成に向けた取組み等を通じ、財政基盤の強化に努める。

○経常収支比率
類似団体平均を下回っているが、扶助費や一部事務組合に対する補助費等の増等により、上昇傾向にある(対前年度比1.6%上昇)。今後、財政安定化プランに掲げた目標(90%以下)を達成するため、市債の繰上償還(平成22年度までの間に公的資金約6億円、民間資金約26億円を予定)をはじめとした取組みを行い、経常経費の圧縮に努める。

○ラスパイレス指数
給与構造改革を実施した平成18年度に引き続き、全国市平均以下の水準にある。

○実質公債費比率
過去からの起債抑制や繰上償還の実施等により類似団体平均を大きく下回っているが、今後は合併特例事業の実施、施設の老朽化に伴う発行額の増加も懸念される。財政安定化プランに掲げた目標(11%以下)を達成するためにも、投資

事業の圧縮と年度間調整による平準化、繰上償還の実施等を行い、抑制を図る。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を大きく下回っているが、臨時財政対策債や合併特例事業債の発行に伴い、年々増加傾向にある。今後の発行額の増加も懸念されることから、財政安定化プランに掲げた目標(300億円以下)を達成すべく、緊急性及市民ニーズに配慮した事業実施、計画的な繰上償還の実施等の取組みを強化する。

○人口1,000人当たり職員数
過去からの積極的な民間委託の導入等により、前年度に引き続き類似団体内で最も低い数値となっている。平成17年度から実施している職員定数適正化計画における「10年間で職員60人削減」の目標に対し、平成20年4月1日時点で39人の削減を行っており、引き続き適正な定員管理を行っていく。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることに加え、民間委託の推進や、定員管理の適正化に努めていることなどから、補助費等を加えた額と比較しても類似団体平均より低い水準にある。今後も定員管理の適正化、配分型予算編成による物件費抑制等の取組みを通じ、この水準を維持する。